

留 学 報 告 書

記入日:2015年6月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 現地言語: State University of New York at New Platz
留学期間	2014年8月～2015年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015年6月2日
明治大学卒業予定年	2016年3月



留学先大学について			
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期: 8 月末～12 月 2 学期: 1 月中旬～5 月中旬		
学生数	7,600 人		
創立年	1828 年		
留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	0	0 円	明治大学負担
宿舍費	\$7,220	866,400 円	
食費	\$3,676	441,120 円	
図書費	\$500	60,000 円	
学用品費	\$110	13,200 円	
教養娯楽費		円	
被服費	\$1,000	120,000 円	
医療費		円	
保険費	\$1,472	176,600 円	形態:
渡航旅費	\$1,400	168,000 円	
雑費		円	
その他	\$140	16,800 円	
その他	\$7,000	840,000 円	旅行費、娯楽費、その他生活費など
合計	\$22,518	2,702,120 円	

渡航関連

渡航経路:

NRT→ICN→JFK

JFK→SAN→SFO→SEA→VYR→HND

渡航費用

チケットの種類 片道

往路 ¥113,400

復路 \$199(JFK→SAN),\$85(SAN→SFO),\$103(SFO→SEA),\$598(YVR→HND)

合計 ¥231,600

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

StudentUniverse(<http://studentuniverse.com>)Expedia(<http://expedia.com>)

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍など)

大学寮

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数スイートルーム 6 人、部屋 2 人)

3) 住居を探した方法:

大学

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

はじめは、古い寮の 2 人部屋でした。ルームメイトはいい人でしたが、ルームメイトの彼女が毎日自分の部屋に居座り、テレビを見ていたので後期からは部屋を変えました。事前に友達だったアメリカ人と一緒に部屋になるようにルームメンターやプログラムの先生達とうまくやって、後期は思い通りの部屋に済むことができました。結果ものすごくいい寮生活を送ることができました。寮の部屋ひとつとっても、人づて、友達づてが一番です。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

結果利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

どんな問題でも大学内に窓口があるのでそこに行って相談することができます。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

危険情報は特に集めませんでした。大使館に在留届を出すと大きなニュースは連絡をくれるので手続きをしっかりとするといいと思います。盗難には遭遇しませんでした。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校の敷地内には十分 Wi-Fi 環境が整っているので満足でした。携帯は日本のスマホを SIM ロック解除して向こうのキャリア(ATT)のプリペイド SIM を使っていました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に CHASE という銀行口座を開設し、日本円を親に送金してもらっていました。また、新生銀行のカードがあれば、現地でも現金を引き出すことができるのでいざというときに便利です。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本サイズの歯ブラシ、スーツ、日本製の生理用品、日本らしいもの(浴衣など)

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

ボストンキャリアフォーラムは要チェック。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

楽天

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

就職活動はそんなに心配しなくていいと思います。ある程度自分のやりたいことや興味があることが決まっているのであれば、その企業の情報を最低限押さえておけばあとは留学に集中することの方が得られるものが大きい気がします。ボストンでキャリアフォーラムがあるので、それには参加すると雰囲気もつかめるし運が良ければ内定も数社もらえるので行くといいと思います。僕もそこで楽天の内定をもらいました。留学生活は楽しいし、自分の枠を根底から覆すような経験をたくさんすると思うので、自分の進路がわからなくなってしまう方もいるかもしれませんが。実際に僕がそうです。でも、留学の醍醐味って他の人には味わえないことにあると思うので、そのような経験ができることさえも醍醐味のひとつなのではないかと思っています。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 4 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Public Speaking	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	コミュニケーション学科
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	プレゼン形式
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Antonio Garcia
授業内容	Informative,Persuasive などのテーマを決めて、それに基づきプレゼンを作って人前で発表する。プレゼンの方法論や、ポイントを学ぶ。
試験・課題など	プレゼン資料作り、練習
感想を自由記入	英語力を高めて自信をつけるために最初に度胸試しとして履修するのにはいいと思います。聴衆は全員ネイティブのアメリカ人だったので、そこに自分も混ざって英語でプレゼンするというのは最初は勇気のいることですが、やってみればなんてことはないです。むしろ人前で話すことの恥ずかしさを打破することができて、その後の留学生活のひとつの自信にもなりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
History of Jazz	Jazz の歴史
科目設置学部・研究科	音楽科
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Meg Devlin O' Sullivan
授業内容	教授が Jazz の教科書に沿って Youtube で Jazz の動画を流し、解説する。
試験・課題など	簡単なレポートが数回、定期試験は選択問題。
感想を自由記入	非常に楽な授業でした。アメリカでしか習えないことを学びたいと思って履修しましたが、現地の学生はいわゆる「楽単」だから履修する科目のようです。内容自体は興味があれば面白いとは思いますが、興味が無ければとてもつまらない授業だと思いません。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Inequality in the US	アメリカの社会不平等
科目設置学部・研究科	社会学科
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Matthew Jackerbyrne
授業内容	アメリカの社会不平等、差別、雇用機会不均等など
試験・課題など	重めのレポートが 3 回。期末のペーパーテストは無い。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Graphic Design		グラフィックデザイン	
科目設置学部・研究科	美術科		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義・実践・プレゼン形式		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Dianne Attebury		
授業内容	Adobe Illustrator と InDesign を使って Typeface、カーニング、本のレイアウト、ブックカバーなどを作成していく。各プロジェクトが完了したら、作品をプレゼンで発表する。		
試験・課題など	小テスト、定期テスト(時間内に指定された作品を作る)		
感想を自由記入	Graphic Design はアメリカで僕が最も学びたかった授業です。明治大学の専攻とは全く関係がありませんが、わざわざデザイン学科の学科長にお願いして入れてもらいました。もともとデザインのスキルは多少ありましたが、やっぱり体系的に学ぶことによっていろいろな知識やスキルが身につきました。友達もたくさんできて、楽しかったし、履修して本当によかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Advertising Strategy		広告戦略論	
科目設置学部・研究科	ビジネス学科		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義・プレゼン形式		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Tae-Hyung Pyo		
授業内容	広告戦略やマーケティングの講義と、ケーススタディのグループワーク、広告戦略をコンサルタント的に提案してプレゼンする		
試験・課題など	グループによるプレゼンが3回、期末テストが1回		
感想を自由記入	興味のある広告戦略に関してマーケティングと絡めながら学べる面白い授業でした。プレゼンは自分のアイデアを英語でグループのメンバーや聴衆に伝えるのに苦戦したりもしましたが、ひとつの目的に向かってチームで解決策を提案していくという実践タイプの刺激的な授業でした。講義の内容も面白かったので、おすすめの授業の1つです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Elementary Chinese II		初級中国語 II	
科目設置学部・研究科	外国語学科		
履修期間	春学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に75分が3回		
担当教授	Hanmo Zhang		
授業内容	教科書の音読、単語練習、ビデオを見るなど		
試験・課題など	各章ごとに小テスト、学期末は寸劇のテストとペーパーテスト		
感想を自由記入	明治大学でも中国語をやったので、それをさらに伸ばそうと思い、また英語で中国語を学ぶことに興味があったので履修しました。基本的には I から履修しなければいけないのですが、教授に明治で履修したことを話して II から入れてもらいました。やはり日本人なので漢字を書くこと読むことに関してはかなりアドバンテージがあるのか、授業内容はびっくりするくらい簡単でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
US History since 1865		アメリカの歴史(1865年以降)	
科目設置学部・研究科	歴史学科		
履修期間	春学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に75分が3回		
担当教授	Lee Bernstein		
授業内容	アメリカの歴史(1865年南北戦争以降)		
試験・課題など	重いペーパーが3回、筆記テストが3回。		
感想を自由記入	アメリカの背景知識が他の学生よりも欠けている僕にとっては、難しい授業でした。どんなに日本で世界史の勉強をしているとはいえ、英語で専門用語などがたくさん出てくると覚えるのが大変です。また、レポートの問題も創造性を求められて深く考えさせられるものだったので、時間がかなりかかりました。しかし、アメリカの歴史について体系的に学ぶことができるので、留学という機会に思い切って勉強してみてもいいかもしれません。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Visible Systems		ビジュアルシステム	
科目設置学部・研究科	美術科		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義・実践・プレゼン形式		
授業時間数	1週間に150分が2回		
担当教授	Laure Golben		
授業内容	Illustrator, InDesign を利用して文字、アイコン、地図、インフォグラフィック、ポートフォリオの5つのプロジェクトを講義・実践・プレゼンを通して学ぶ。		
試験・課題など	期末テストはポートフォリオを提出する		
感想を自由記入	秋学期の Graphic Design が面白かったので、次に履修すべきデザインの授業を聞いて入れてもらいました。この授業では、アイコンや地図のイラストの作り方、またインフォグラフィックの作り方などいままでやったことの無い領域の内容を学ぶことができたのでさらなるスキルアップに繋がりました。履修してよかったです。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	出願・面接・相談など
10月～12月	
2014年 1月～3月	留学決定
4月～7月	TOEFL のスコア取得
8月～9月	渡航
10月～12月	秋学期
2015年 1月～3月	春学期
4月～7月	帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	大学に入学する前から、大学生活の大きな目標は留学でした。1年生の時に初めての海外でフィリピンに語学留学をして、英語で世界の人と交流できる楽しさと、自分が日本しか知らないということに気づきました。大学2年時の東南アジア旅行でさらに海外の面白さに魅了され、絶対留学したいと思って決めました。また、日本にあるアメリカ文化、例えば音楽や映画、スポーツなどを本場の雰囲気の中で楽しみたいと思ったのも理由のひとつです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力の準備は絶対的に必要です。話せれば話せるだけ楽しみの数が増えます。日本で準備できることがほとんどなので、現地にいったらすぐになじめるようにしておくのが最善だと思います。また、留学先でやりたいことや目標などを言語化・リスト化しておくのもいいと思います。現地で達成したことがどんどん増えていく感覚はとても気持ちがいいです。留学に長期的な見通しが付きます。日本と留学先(アメリカ)以外の国際情勢や、宗教について勉強しておくべきだと思います。留学生は、世界各国からやってきます。その十人十色な留学生達とうまくやっていくためには、お互いがお互いのことを深く知ろうという努力が非常に重要な鍵になってきます。恥ずかしい思いをして学ぶこともたくさんありましたが、日本にいるうちから世界にもっと興味をもっておけばよかったと思いました。
この留学先を選んだ理由	先に友人が留学していたので情報が収集しやすかったというもありますが、ニューヨークに近いというのが最大の理由です。留学を学校周辺で完結させたくなかったので、積極的に学校外にも出て行こうと思っていました。事実、ニューヨークで活躍している日本人や企業に足を運ぶことも多くありましたし、やはり世界の中心とも言える大都会でまとまった時間を過ごせるのはこの機会しかないと思ってこの留学先にしました。また、デザイン科があったというのも理由のひとつです。
大学・学生の雰囲気	大学自体は、綺麗な山や川に囲まれた美しい大自然の中にあります。街は大学で成り立っているのでは無いかと思うくらい小さいです。感じが良くて過ごしやすいお店がたくさんあります。また学生の人種や国籍も多様で、温厚な人が多いです。やるときはやる、遊ぶときは遊ぶという切り替えがはっきりしていました。キャンパス自体が大きな公園のようになっているので、いろんな人と顔見知りになれるし、リラックスできる環境も整っています。
寮の雰囲気	入寮する寮にもよりますが、寮にはレジデンスアシスタントという学生がいて、とても話しやすく頼りになります。僕も何度もお世話になり、実家に泊めてもらえるような仲にもなりました。また、パーティやゲームなどのイベントも毎週のようにあるので、興味がある無いうであれば積極的に参加してみるといいと思います。後期に入った寮は、スイートルームといってリビングのような大きな部屋と個室があったので、そこで他の部屋の友達と遅くまでしゃべったり、ご飯を食べたりパーティをしたり、本当に楽しい思い出をしました。アメリカの大学生活を攻略するひとつのキーは、寮でいかに社会的に過ごすかだと思います。
交友関係	International Student Unionという世界各国の留学生が所属する団体があったので、そこに積極的に関わりました。それにより、色んな背景を持った友達ができました。毎週2回集まりがあったので、そのメンバーでパーティをしたり、遊びに行ったりということが多かったです。また、授業でも友達ができました。自分の殻に閉じこもっているといつまでも友達ができないので、自分から勇気を出して話しかけたり、誘ったりするとうまくいきます。そのへんはいかにもアメリカ的だと感じる部分でもありました。交友関係は自分から作るもの。そう実感しました。
困ったこと、大変だったこと	前期に住んでいた寮のルームメイトの彼女が、僕には苦痛でした。毎日深夜まで部屋に居座り、お菓子を食べながらテレビを見続けるというような状況でした。ルームメイトに相談はしましたが、うまく解決されなかったので後期から寮を変えることにしました。変えてからは何もかもが最高でした。また、授業料をクレジットカードで支払うのですが、限度額が低いとカードでの支払いができません。事前に限度額を上げておかなかったので、何度もATMに行って現金を引き出してそれで支払わなければならなかったので大変でした。限度額が20万円くらいのカードを3枚くらい持って行けば大丈夫だと思えます。

学習内容・勉強について	授業は自分の興味があるもの、アメリカでしか履修できないもの、という基準で選びました。単位変換のことは考えませんでした。はじめは教授の話をすべて聞き取ることができず、レコーダーを使って授業後に確認したり、電子辞書の持ち込みを許可してもらってそれを開いて単語を毎回確認していました。途中からそれも必要なくなりました。レポートは日本とは比べものにならない量を書かなければならないので、英作文の練習はしなくてもいいと思います。レポートが成績のかなりの部分を占める科目もあるので、たくさん表現方法を身につけておくべきだと思います。
課題・試験について	僕はたまたま、他の人に比べたら課題量はそこまで多くない授業を取っていたようですが、それでも日本の大学よりは多いと思います。また、英語は追いついても要求されている質問を批判的に解釈して答えなければいけなかったり、英語以外の部分で想像力を求められる質問も多くあって、難しかったです。試験に関しては、しっかりと準備をすればネイティブとも対等に戦えます。成績は世界共通で、勉強量に比例すると実感しました。事前に教授が試験の説明してくれるし、シラバスにも詳しく書いてあることがほとんどなので、しっかりと読み込んでおくことが大切だと思います。
大学外の活動について	ニューヨークシティに行って知り合いのインターン先企業に行かせてもらったり、日本でやっていたメディアのPRを日系企業にしにいたりしました。また、ニューヨークを日本に発信するメディアのライターをしたり、留学マガジンなどでライターもしました。ネットがあれば、すぐに情報も収集できるし、いろんな人と繋がれるので、せっかくだから繋がっておくいいと思います。
留学を志す人へ	まずはじめに言いたいことは、留学は楽しんだもの勝ちだということです。留学しても、生活の環境が違うだけで、みんな同じ学生だし、それぞれがそれぞれの思いを抱いて勉強しています。経済状況が厳しい人もいれば、いろんな才能のある人、好きなことに没頭している人、自分勝手な人など、様々な人がいますが、それは留学していなくても同じ事です。だったら、自分がやりたいことを自分の意志で切り開いていく力が求められます。留学期間の中で、日本にいるときの自分となんかちょっと違うな一と感ずることもあるかもしれませんが、英語力不足が原因かもしれないし、勇気が出せずに殻に閉じこもっている自分が原因かもしれません。英語だったら勉強すればいいし、自分がうまく表現できなければ、相談に乗ってくれる友達が必ずどこかにいるはず。留学期間なんてあっという間に終わってしまいます。本当に一瞬です。やり残したことがあっても、もう2度と戻ることにはできません。かけがえの無い時間だからこそ、目の前にいる友達との時間、勉強している時間、パーティではしゃいでいる時間、その一瞬一瞬を本気で楽しむことが、留学して心から良かったなと思える自分に繋がります。留学期間は、思い出ただけで飛び上がりたいくらい楽しいです。日本でやれることは全てやり尽くして自分のベストな状況で渡航して、留学したら勉強はしっかりとやる。そしていつも笑顔で留学期間を思いっきり楽しんでください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業	起床	起床
						昼食	昼食
午後	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	課題があれば課題	課題があれば課題
	授業		授業	授業		無ければ自由	無ければ自由
夕刻	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
夜	課題・ISU (ゲームナイト・ムービーナイト)	課題・自由	課題・自由	課題・ISU (ゲームナイト・ムービーナイト)	自由 (団欒、エクササイズ、映画、外食、パーティなど)	自由 (団欒、エクササイズ、映画、外食、パーティなど)	自由 (団欒、エクササイズ、映画、外食、パーティなど)